

様式第3号（第18条関係）

ばい煙発生施設設置（使用・変更）届出書

年 月 日

宮崎県知事 殿
または
宮崎市長

住所
氏名 ⑩
法人にあつては、その主たる事業所の
所在地並びに名称及び代表者の氏名

みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例第20条第1項（第21条第1項、第22条第1項）の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1 のとおり	※審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2 のとおり	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3 のとおり		

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類欄には、みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則別表第1に掲げる名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

別紙 1

ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	伝熱面積 (m ²)		
	燃料の燃焼能力 (重油換算 □ / h)		
	原料の焼却能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)		
	変圧器の定格容量 (K V A)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (k g / h)		
	焼却能力 (k g / h)		
	乾燥施設の容量 (m ³)		
	電流容量 (K A)		
	ポンプの動力 (K W)		
	合成・漂白・濃縮能力 (k g / h)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則別表第1の上欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号							
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月			時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動						
原材料 (ばい煙 の発生に 影響のあ るものに 限る。)	種 類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 ふっ素分		硫黄分 カドミウム分	鉛分 ふっ素分	
	1日の使用量						
燃料又 は電力	種 類						
	燃料中の成分割合 (%)	灰 分	硫黄分	窒素分	灰 分	硫黄分	窒素分
	発 熱 量						
	通常の使用量						
	混焼割合						
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大	通常		最大	通常	
	乾き	最大	通常		最大	通常	
排出ガス温度 (℃)							
排出ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙 の濃度	ばいじん(g/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	硫黄酸化物 (容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
	カドミウム及びその 化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	塩素 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	ふっ素、ふっ化水素及び ふっ化けい素 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	最大	通常		最大	通常	
	窒素酸化物 (容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	最大	通常		最大	通常	
参考事項							

- 備考 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一行程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の排出抑制のために採っている方法等を記載すること。

別紙 3

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号			
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号			
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式			
設	置	年 月 日	年 月 日
着	手 予 定	年 月 日	年 月 日
使	用 開 始 予 定	年 月 日	年 月 日
処	排出ガス量 (N m ³ / h)	最大	
		通常	
ば	排出ガス温度(°C)	処理前	
		処理後	
煙	ばいじん (g / N m ³)	処理前	
		処理後	
	硫黄酸化物 (容量比ppm)	処理前	
		処理後	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
	塩素 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	処理前	
		処理後	
ふっ素、ふっ化水素、ふっ 化けい素 (mg/Nm ³)	処理前		
	処理後		
鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	処理前		
	処理後		
窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前		
	処理後		
濃	ばい煙量 (Nm ³ /h)	最大	処理前
		最大	処理後
		通常	処理前
		通常	処理後
度	捕集効率 (%)	ばいじん	
		硫黄酸化物	
	カドミウム及びその化合物		
	塩素		
	塩化水素		
	ふっ素、ふっ化水素、及びふっ化けい素		
	鉛及びその化合物		
	窒素酸化物		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動		
排出口の実高さ H _o (m)			
補正された排出口の高さ H _e (m)			
排出速度 (m/s)			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さ H_e は、みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第 15 条第 2 項の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。